

エンタメ消費者動向の定期サービス『eb-i Xpress』

2018年冬アニメ番組の視聴意向を発表！

～ 第1位は「七つの大罪 戒めの復活」～

株式会社Gzブレイン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:浜村弘一)は、映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽などエンターテインメントの最新消費者動向を独自のユーザー調査から読み解く、企業向け定期サービス『eb-i Xpress』(イー・ビー・アイ・エクスプレス)を配信しています。

今回『eb-i Xpress』では、全国47都道府県に在住する5～69歳男女を対象とした、2018年1月に放送開始が予定されている冬アニメ番組の視聴意向について、実態調査を行いました。

【2018年放送 冬アニメ番組の視聴意向 総合ランキング TOP20】

※2018年冬に開始する各アニメ番組の中から、“視聴したい”と選択した作品を集計。

順位	番組名
1	七つの大罪 戒めの復活
2	カードキャプターさくら クリアカード編
3	斉木楠雄のΨ難
4	弱虫ペダル GLORY LINE
5	だがしかし2
6	ラーメン大好き小泉さん
7	オーバーロードII
8	Fate/EXTRA Last Encore
9	からかい上手の高木さん
10	恋は雨上がりのように
11	続『刀剣乱舞-花丸-』
12	バジリスク ～桜花忍法帖～
13	りゅうおうのおしごと！
14	デスマーチからはじまる異世界狂想曲
15	25歳の女子高生
16	伊藤潤二「コレクション」
17	ポップテピピック
18	ミイラの飼い方
19	ヴァイオレット・エヴァーガーデン
20	覇穹 封神演義

(単位:人 n=15240 集計期間:2017年12月4日～12月5日/出典:eb-i Xpress)

●2018年1月放送の冬アニメで最も視聴したい番組は、「七つの大罪 戒めの復活」!

今回の調査で最も視聴意向が高かった冬アニメ番組は、同名の漫画作品を原作とした王道ファンタジー「七つの大罪 戒めの復活」です。本作品は2014年10月にテレビアニメ第1期、2016年8月にはテレビアニメのスペシャル版が放送、2018年夏には劇場版の公開が予定されています。世代を問わず幅広い層からの票を集め、男性のランキングにおいてもトップを獲得しています。

第2位には、約20年ぶりとなるテレビアニメ化で話題を呼んだ「カードキャプターさくら クリアカード編」がランクイン。「カードキャプターさくら」は1996年～2000年に少女漫画誌で連載された人気漫画で、2016年からは新作「クリアカード編」の連載が同誌でスタートしています。本調査でも女性のランキングでトップを獲得。特に10代未満と20～30代女性の支持が高く、新旧両方のファンからの期待を集めていることが伺えます。

第3位は、「斉木楠雄のΨ難」第2期です。同名の漫画作品を原作とし、2016年にテレビアニメ第1期が放送、2017年10月には実写映画も公開されました。男女ともに票を集め、なかでも10代のランキングでトップとなっています。

そのほか世代別の傾向としては、実在の駄菓子が登場するコメディ作品「だがしかし 2」(5位)が20代のランキングで2位に。女子高生が日々おいしいラーメンを追い求める姿を描いた「ラーメン大好き小泉さん」(6位)が50～60代のランキングで2位となっています。さらに、TOP20圏外ではありますが、「新幹線変形ロボ シンカリオン THE ANIMATION」は、“実在する新幹線から変形する巨大ロボット”が男性を中心とした子ども世代の心をしっかり掴み、10代未満のランキングで2位に入りました。

【2018年放送 冬アニメ番組の視聴意向 性別ランキング TOP5】

◆2018年放送 冬アニメ番組 男性の視聴意向ランキング

順位	番組名
1	七つの大罪 戒めの復活
2	だがしかし 2
3	弱虫ペダル GLORY LINE
4	ラーメン大好き小泉さん
5	斉木楠雄のΨ難

(n=8184 集計期間:2017年12月4日～12月5日/出典:eb-i Xpress)

◆2018年放送 冬アニメ番組 女性の視聴意向ランキング

順位	番組名
1	カードキャプターさくら クリアカード編
2	斉木楠雄のΨ難第2期
3	七つの大罪 戒めの復活
4	弱虫ペダル GLORY LINE
5	続『刀剣乱舞-花丸-』

(n=7056 集計期間:2017年12月4日～12月5日/出典:eb-i Xpress)

◇ 『eb-i Xpress』 調査概要

国内 25 万人パネルから、全国 47 都道府県の 5～69 歳(※)の男女 1 万人超のモニターを対象に、エンターテインメント分野に関して Web 調査を行う、大規模ユーザーリサーチシステム「eb-i」を元に運用。映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽など各エンターテインメントジャンルについて、「eb-i」から抽出したデータをもとに、一定のセグメント・ユーザー嗜好を組み合わせたクロス集計を実施。

(※)14 歳以下は保護者の代理回答となります。

◇ 『eb-i Xpress』 サービスについて

『eb-i Xpress』は、月次レポートと専用サイトのアクセス権を基本パッケージとしたサービスになります。月次レポートはエンターテインメント各ジャンルの接触ランキング、各種分析、時流に応じたテーマをデータで切り取る特集記事などから構成されます。専用サイトでは、随時更新される集計データと過去のアーカイブを閲覧することができます。 URL: <http://www.f-ism.net/>

◆株式会社 Gzブレイン(ジーズブレイン)について



株式会社 Gzブレイン(代表取締役社長:浜村 弘一)は 2017 年 7 月 3 日、カドカワ株式会社の 100%子会社として設立。『ファミ通』や『B's-LOG』ブランドをはじめとする、様々なゲームメディア・サービスの企画・制作・編集・運営を行っています。情報誌や書籍の出版だけでなく、Web メディアやイベントの企画・運営、ゲーム動画・映像配信やコンテンツ制作、ゲームマーケティング事業など、あらゆる角度からゲームの面白さを伝える事業を展開しています。

公式サイト URL: <http://gzbrain.jp>